

研究所だより

第349号
2015年5月14日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3016

～新緑がまぶしい季節となりました！～

天気にも恵まれたゴールデンウィーク。暦の上では「立夏」が過ぎて、葉桜が濃さを増し、少しずつ夏を感じさせてくる頃となりました。

さて、過日所用で学校訪問をしていた時とても嬉しいことがありました。それはある小学校で3名の高学年女兒に気持ちのいい挨拶で出迎えてもらったことです。市街地では、登下校の児童生徒からも元気な挨拶が返ってきました。その中でも中学1年生の男子生徒からは「毎日学校が楽しい。」と笑顔で話してくれる姿に思わずるんるんになりました。



～春の全国交通安全運動～

- ・運動の基本：『子どもと高齢者の交通事故防止』
- ・実施期間：5月11日（月）～5月20日（水）
- * 交通社会では思いやり（徐行する・道を譲る）を大切にしましょう！

教育研究所研究協力校及び研究グループ

この1年間、清水の教育の発展・向上のために研究協力校及び研究員（グループ）を委嘱し、校内研究テーマとは別のテーマ設定での研究をしていただきます。研究の取り組み概要、成果、課題につきましては研究集録『清水の教育』に掲載します。

研究協力校

<足摺岬小学校>－研究主任：吉本 砂紀 校長：門田 典弘

- 1, 研究テーマ
自ら学び高め合う 心豊かな岬の子どもの育成
～確かな学力を育む複式授業づくり～
- 2, 研究の概要
(1) 複式教育の充実と授業改善
①複式教育について及びその良さを単式学級での授業に生かす理論学習
②全学級での「学習リーダーの活用」を取り入れた授業研究の実施
③教材研究や複式指導案・「学習リーダーの活用」を取り入れた指導案の研究
④本校における「複式授業のスタンダード」の継続
(平成26年度中山間地域小規模・複式教育研究指定事業の成果・課題を受けて)
⑤授業改善のためのICT機器の効果的活用
(2) 基礎学力の定着
①基礎学力到達目標の設定（数値目標）と検証
②帯タイム（計算タイム）の有効活用
③授業力チェックシートの活用
(3) 自学自習力の向上
①家庭学習・自主学習の内容や時間の指導について
②授業の中での児童が主体的に学習する場の設定・充実について
(ひとり学び・とも学び・リーダー学習等)
- 3, その他
研究推進の方策

- ・積極的に講師招聘を行って理論学習を充実させる。
- ・全学級が同じベクトルで授業改善を行い、来年度の完全複式の授業実践に向けて取り組む。

<下ノ加江小学校>－研究主任：畠中 明美 校長：吉本 拓也

- 1, 研究テーマ
自ら判断し主体的に行動できる児童の育成
重点目標
「自分の命を守る」「知識を備え判断する」「地域社会に貢献する心（態度）」の三つの力の育成
- 2, 研究の概要
①児童・保護者の防災への意識調査を行い、課題を明らかにして防災意識の向上を図る。
②児童が主体的に行動し、正しく判断できるようにする様々な場面を想定した避難訓練を実施する。
③有識者の指導・助言を受け、充実した防災教育を行う。
(防災に関する知識・理解等)
④地域との合同避難訓練を実施する。
⑤各学年で「地震・津波」を中心とした防災に関する研究授業を実施する。
⑥防災教育研究発表会及び講演会を開催し、防災教育の啓発・普及を図る。
- 3, その他
○講師 大木 聖子 慶應義塾大学准教授
(6月、10月、1月の3回の予定)
○研究発表会 平成28年1月29日（金）予定
【第2予定日】1月28日（木）【第3予定日】1月26日（火）

<清水中学校>－研究主任：中野こずえ 校長：岡崎 哲也

- 1, 研究テーマ
研究主題：確かな学力を育むための指導工夫改善
－学校図書館教育の推進により－
研究仮説
学校図書館を活用した授業、資料を活用した授業を行うことで、思考力・判断力・表現力が育成されるであろう。
- 2, 研究の概要（設定の理由）
主題に掲げた「確かな学力」とは「知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの」（学習指導要領）である。研究の仮説として、確かな学力を育むには、基礎基本となる「知識・技能」を定着させることが必要である。そしてまた、知識や技能を生かし、活用する場としての言語活動を行うには必ず他者が存在する。他者とかかわり合い、学び合うという協同学習の場での知識・技能のアウトプットを通して自己に内在する課題に気づき、さらなる探求活動や学びに向かう生徒の姿が見られるであろうことを想定している。各教科の目標を達成するための手段が言語活動であることはいままでのままではない。また、仮説に掲げる学校図書館を活用した授業や教科書以外の図書資料、新聞等を活用した授業を行うことが広く深い学びに繋がり表現力の育成になると考えている。
本年度は授業の構造化、導入や課題提示の工夫、魅力ある学習課題の開発、習熟段階に合わせた複数教材の準備等、教科部会での研究を中心に空き時間等も利用したミニ授業研究も含め研究し、その中間報告として11月6日の「四国学校図書館教育研究大会公開授業」を位置づけたい。

3, 研究内容

I ことばの力育成プロジェクト事業推進計画

(1) 全国学力・学習状況調査の分析に基づいた授業改善

- ①ユニバーサルデザインを生かした授業
- ②めあてと振り返りの徹底
- ③個人でしっかり思考し、小さなグループで自分の考えを相手にわかりやすく発表、グループで思考を広め、そのまとめを学級全体に聞こえる声と話し方で発表、全体でさらに思考を深め、個人での振り返りとするようリサイクルの学習を目指す。
- ④1時間の中で基礎と活用の並行を意識した授業の研究。
- ⑤以上の改善点を生かした研究授業を年間一人2回は行う。

(2) 図書館や図書館資料を使った授業の推進

- ①図書館や図書館資料を使った授業を年間計画の中に明記し計画的に実施
- ②ことばの力担当によるブックトーク
 - ・各教科1年間に1回以上実施する。
- ③調べ学習
 - 全学年、総合的な学習の時間の中で1回以上調べ学習を行う。また発表にあたっては聞き手を意識した発表ができるようにプレゼンテーション能力の育成にも取り組む。
 - 総合的な学習の時間のほかにも、各学年、年間2回は調べ学習に取り組む。

④読み聞かせ

- 地域の朗読ボランティアに来て頂いて1ヶ月に1回、1年全学級に実施する。
- 保護者からボランティアを募り1ヶ月に1回全学年全学級に実施する。
- 本校教員による生徒への読み聞かせ。(1年担任が学級へ、学校長が全学級へ、国語科が担当学級で実施する)

⑤図書支援員や生徒会図書部とのさらなる連携、及び学校図書の貸し出し利用の推進を図る。

(3) 書くことに関する学習活動の充実

- ①授業のまとめを書く
 - 授業の終わりにキーワードを使い40～100字程度に学んだことをまとめる。
- ②各種シートの活用
 - 国語科全学年で年間10シート以上活用する。また、年間計画に明記する。
 - 学級弁論に向けて、国語科シート中学校編⑩・小学校編⑨のどちらかを活用する。また、それを特別活動の年間計画に明記する。
 - 帯タイムで数学シートを活用する。
- ③各種コンクールへの積極的な参加
 - ショートコメントコンテスト・読書感想文コンクール等
- ④国語科担任以外の教員による書く指導及びコラボ授業
 - 学級弁論(担任・副担任)
 - 税の作文コンクール(社会科担当)
 - はがき新聞を国語科、総合以外でも実施できるように働きかける。(校内研修をもつ)
 - 鑑賞文を書く。(美術と国語のコラボ)

(4) 新聞を活用した学習活動の研究

- 社会科における新聞の効果的活用、及び他教科における導入の部分や学習のまとめの部分での新聞紙面の効果的活用を研究する。

研究グループ

<土佐清水市特別支援教育研究会>

会長：足摺岬小学校 門田 典弘

1, 研究テーマ

交流学习を通して特別な支援が必要な児童・生徒が互いに連携と親睦を図ることで社会性を身につけさせ、自立への意欲を育てる。

2, 研究の概要

－1学期－

- ・研修会：実践交流 5月19日(火) 16:00～16:45 清水中学校
- ・親子交換会：ゲーム交流と水族館でえさやり体験 6月18日(木) 10:30～15:30 三崎小学校
足摺海洋館

- ・研修会：実践交流 8月18日(火) 10:00～12:00 清水中学校

－2学期－

- ・合同学習会：ゲーム交流とバーベキュー 11月17日(火) 10:30～14:00 幡多青少年の家
- ・研修会：実践交流、郡文集「大地」仮とじ 11月24日(火) 16:00～16:45 清水中学校

－3学期－

- ・合同学習会：ゲーム交流とカレー作り 1月19日(火) 10:30～14:30 社会福祉センター
- ・研修会：今年度の総括
文集の製本 2月23日(火) 16:00～16:45 清水中学校

市教研 各部会研究テーマ、研修計画

国語部会	『自分の思いが表現できる授業づくり』		
稲野 仁子	8月 5日	教材研究	
(6名)	11月 4日	研究授業(清水中2年:東 拓意)	
	1月26日(28日)	年間総括	

社会科部会	『社会科の指導法の研究－フィールドワーク・地域教材を活用して－』		
田村 公利	8月 5日	フィールドワーク	
(10名)	11月 4日	研究授業(清水中:田村 公利) 講師招聘(高知大:藤田先生)	
	1月15日	年間総括	

算数・数学部会	『楽しくわかる算数・数学の授業を目指して～豊かな言語活動を通して～』		
吉本 砂紀	6月 9日	公開授業(清水中1年)	
(16名)	8月 5日	教材検討	
	10月13日	指導案検討	
	11月 4日	研究授業(清水小6年:平田 耕児) 講師:西部教育事務所指導主事	
	1月19日	年間総括	

理科部会	『分かる楽しい授業づくり』		
中山 唯	8月 5日	探求の手法について「授業づくり及び、実験観察を通して」	
(7名)		講師:中城 満先生(高知大) ジオパーク副読本について	
	11月 4日	研究授業(清水中:沼瀬 直哉) ジオパーク副読本について	
	1月19日	年間総括 ジオパークの話	

音楽部会	『一人ひとりが生きる音楽の授業を目指して』		
和田 祐二	7月28日	清水中の吹奏楽部の練習を通して指導方法の研修	
(5名)	8月5日	指導案検討	
	11月4日	研究授業(清水小6年:和田祐二)	
	1月19日	年間総括	

教育相談部会	『人間関係を考える ー見る、聴く、つなぐー』		
岡田 栄喜	6月12日	学級づくりと意見交流	
(7名)	8月5日	講師招聘「発達特性について」	
	11月4日	講師招聘「仲間づくり・人間関係づくり」	
	12月8日	年間総括	

図工部会	『豊かな発想で創造する力を育てる』		
尾崎 浩史	8月5日	絵手紙講習(講師招聘)、指導案検討	
(8名)	11月4日	研究授業(清水小4年:吉本 紀子)	
	1月21日	年間総括	

情報教育部会	『ICTを活用した授業づくりと情報モラルについて研究を深める』		
安田 政司	8月5日	「情報モラルについて」	
(7名)		講師招聘:渡辺和久先生(県警少年サポートセンター)	
	11月4日	研究授業(三崎小6年:橋本 哲哉)	
	1月28日	年間総括	

体育部会	『関わり合い、運動好きな子どもを育てる』		
山本 博之	8月5日	指導案検討「ボール運動」	
(9名)		実技による教材研究「ネットボール」「アルティメット」	
	11月4日	研究授業(清水小6年:岩井 圭)	
	1月15日	年間総括	

外国語部会	『みんなが意欲的に取り組む授業づくり』		
	(ゴールイメージを持った活動の設定・小中高の連携)		
浦田 国宏	6月	高校の授業参観	
(9名)	8月5日	一日教研 講師招聘:授業づくりについて	
	11月4日	半日教研 講師招聘:小学校の授業の指導案検討	
	11月	小学校:浜口先生の研究授業	
	11月	中学校:浦田先生の研究授業	
	1月	総括教研、「清水の教育」原稿づくり	

養護部会	『地域に根ざした健康教育』		
北峯千恵	5月26日	県大会発表資料の準備	
(8名)	6月	県大会発表資料の準備	
	8月5日	全体会	
	10月	統一保健指導案検討(授業検討、教材作成)	
	11月4日	研究授業:未定	
	12月	統一保健指導案検討(授業検討、教材作成)	
	1月	年間総括	

事務部会	『「学校事務をふかめる」 ー組織の一員としてできる学校事務を考えるー』		
吉本 富美子	5月14日	研修計画等	
(10名)	6月		
	8月5日	一日教研	
	11月4日	半日教研	
	1月	総括教研	
	*具体的内容は5月の部会で決定		

人権教育部会	『差別の現実から深く学び、どう自分の課題として教育活動に生かしていくか』		
溝渕 紀仁	8月5日	講師招聘しての学習会「新しい人権課題について」	
(8名)	11月4日	研究授業(中浜小3・4年:永橋 貴恵)	
	1月22日	年間総括	